

2017-18年度  
国際ロータリーのテーマ



ロータリー:  
変化をもたらす



# Rotary 川崎大師ロータリークラブ 週報

例会日: 毎週水曜日 PM12:30~  
 例会場: 大本山川崎大師平間寺信徒会館  
 事務局: 〒210-0812 神奈川県川崎市川崎区東門前1-15-10 カーサ石井1F  
 Tel: 044-277-7569 Fax: 044-288-8550  
 URL: <http://www.kawasakidaishi-rc.com/> E-mail: [daisi-rc@eagle.ocn.ne.jp](mailto:daisi-rc@eagle.ocn.ne.jp)

会長 岩井 茂次  
 副会長 船木 幸雄  
 幹事 秦 琢二  
 SAA 猪狩 佳亮

第2190回 (本年度 第45回) 例会 平成30年6月27日 一晴一

●司会 猪狩 佳亮 SAA

●点鐘 岩井 茂次 会長



●斉唱 「四つのテスト」 船山佳則ソングリーダー



来訪ロータリアン紹介 小林勇次親睦委員長  
 川崎RC 大野 弘様



会長報告 岩井茂次会長

- ①本日、「第2回臨時理事会」を行いました。以下のとおりご報告申し上げます。
  - ・倉成会員、飯塚会員、松本会員より退会届が提出され、承認されました。
- ②1年間お世話になりました、川崎大師平間寺第2信徒課様に御礼をお贈りさせていただきます。



③会長賞・・・星野会員、八尋会員、森田会員  
布川浩会員  
会長特別賞・・・猪狩会員  
記念品を贈呈させていただきました。



幹事報告 秦 琢二幹事

- ①45周年記念誌を配布いたしました。岩井会長、坂東記念誌委員長、横山会員にご尽力いただき、作成しましたが製本ミスをおこしてしまいました。早急に対応し、後日事務局に納品いたします。
- ②6/29(金)納会 場所は事務局 18時30分 事務局でお待ちしています。
- ③他クラブの例会変更の案内が届いています。

出席報告

小林勇次親睦委員長

	会員数	対象者	出席	欠席	出席率
2190回	53	46	26	20	56.52%
2188回	53	42	21	21	50.00%
前々回の修正	メイクアップ	5名	修正出席率		61.90%

メイクアップ

野澤隆幸会員、林 鶴会員、中村眞治会員  
出井宏樹会員、猪狩佳亮会員

スマイルレポート 船木幸雄副会長



竹中裕彦会員

本日孫娘の手術につき欠席させていただきます。岩井会長、秦幹事の挨拶が聞けずとても残念です。三役・理事・役員の皆さん、本当にお疲れ様でした。来週からクラブを楽しんで下さい。

牛山裕子会員

岩井会長、秦幹事一年間お疲れ様でした。ご苦労はあったとは存じ上げますが、それなりに、楽しく充実した年度でした。米山奨学金ご寄付も、クラブの皆様のご理解とご協力、会員一人当たりの寄付額はガバナー及び会長目標を越えました。心より感謝申し上げます。

坂東保則会員

妻の誕生日にいつもすてきなお花をありがとうございます。岩井会長お疲れ様でした。

松井昭三会員

先週の日光輪王寺は梅雨どころか炎天の真夏日で大変でした。さて、岩井年度も最後の週となりました。会長始め役員の皆様大変御苦労様でした。

大崎克之会員

一年間社会奉仕活動にご協力いただき、ありがとうございます。お陰様で無事終わることができました。

横山俊夫会員

岩井会長、秦幹事一年間お疲れ様でした。45周年も成功に終了し、ホッとした一年でした。

小林勇次会員

今年度親睦活動に御協力頂きありがとうございました。

## 秦 琢二幹事

1年間、会員の皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。

## 岩井茂次会長

いよいよ今年度最終例会を無事に迎える事が出来ました。次年度からは久しぶりに自由席で例会に出席する事を楽しみにしたいと思います。

一年間ありがとうございました。

## 本日のニコニコのテーマ

岩井丸 帰港いたします。

1年間ありがとうございました。

岩井茂次会長、遠藤悦弘会員、水口 衛会員  
猪狩佳亮会員、船木幸雄会員、大崎克之会員  
鈴木昇二会員、星野祐治会員、沼田直輝会員  
寺尾 巖会員、大藪善一会員、須山文夫会員  
工藤和弘会員、鈴木幹久会員、伊藤佳子会員  
出井宏樹会員、中村眞治会員 合計 70,000円

## 委員会報告

創立45周年特別委員会 記念誌委員会 坂東保則委員長  
装丁については申し訳ありませんでした。2月24日に式典がありそれから4か月が経ってしまいました何とか岩井年度最後の例会の時に間に合ったという形で今日お配りさせていただきました。基本的にこの記念誌については40周年以降の5年の歴代会長の皆様方の報告関係を主体に、様々な親睦イベント、記念誌、記念式典の状況の取りまとめをさせていただきました。新しいものができましたらまたゆっくり読んでいただければと思います。本来45周年記念式典 総務委員長横山さんからという話でしたが今日は欠席ですので私から変わってご報告させていただきます。秦幹事、横山委員長大変御苦労されて、お世話になりました。どうもありがとうございました。



## 2019-20年度第1グループガバナー補佐選出について

## 岩井茂次会長

第11回定例理事会において当クラブからガバナー補佐を輩出することが承認となりました。

6月6日ガバナー選出方法について全会員に通知

6月15日 牛山裕子会員より自薦の申し出を受けました。本日承認決議を行うということで連絡をさせていただいております。

## 牛山裕子会員挨拶

私は積極的に手を挙げたということではありませんが、最近、ロータリーが委縮しているように思えます。地区も勿論です。せめて、このクラブ内で自薦する方が何人かいらして、ディベートしたかったのですが、それが出来なくて非常に残念です。

敢えて私が手を挙げた理由を申し上げれば、未だに横浜ベイRCの会員と誤認識している方が過半数おられること。この辺りではじめを着けなければならないというのが一つ。ガバナー補佐の本来の使命は何だろうと拝見しております。ガバナーと会長・幹事会を繋ぐメッセンジャーになっているように見受けます。プラスすべき使命があるのでは、と考えます。これが二つ目の理由です。

それでは、何ができるのかと問われれば、絶対の自信はありませんが、自己効力感を持って、スタートする前に到達目標を決めて、理論構成をし数値で考える、完全にできますとは言いませんが、出来るのではないかと思います。

この年度は、川崎マリーンRCからガバナーが輩出され、当クラブでは期待される若手の須山会員が満を持してクラブ会長に就任されます。充実した年度であるようお手伝いできればと思います。



## 承認決議

拍手多数により承認

## 岩井茂次会長

牛山様、どうぞよろしく申し上げます。

## 幹事退任挨拶 秦 琢二幹事

岩井会長の取組みを全力で補佐していくように幹事として頑張ろうと年初の時点で思い、活動させて頂きましたが、結果としては補佐としてあまり力になれなかった事を悔やんでおります。

まず、はじめに先週の猪狩SAのをはじめ、本年度入会の浅いメンバーの多大なご協力のおかげで一年間なんとか会の運営ができましたこと、感謝申し上げます。

次年度、遠藤会長、猪狩幹事には会員の大幅な減少にともなう、予算の変更や委員会編成を何度も何度もやり直されたのではないかと思いますと大変申し訳なく、お詫び申し上げます。

この後岩井会長から、一年間の活動報告があると思わず、私からは活動報告ではなく、一つだけ皆さんに本年度幹事としてご提案をさせていただきたいと思えます。幹事経験者の諸先輩方はどうされていたかは知りませんが、はずかしいことに、入会以来定款・細則の内容をはじめ読みました。

本年度の会議では時に大人の事情という事で、感情論で意見をたたかわせる場面もありましたが、最終的には会員の方々が定款に則って、判断していただいた事は大変有り難く、定款があって良かったと思ったことが何回もありました。

同時に定款にも明確な判断がされていない箇所も多々ありましたが、それはそれで奉仕と友情の団体ですので、それほどしつこくなくても良いのかとも思いました。

ただ、時代とともにそれでは解決できない事案も出てきたことも感じました。

そんな定款・細則を読んで、本年度の川崎大師ロータリークラブの体制、他のクラブとの関わりの中で、ひとつ皆さんで考えていただきたいことを提案して、挨拶を終わりにしたいと思います。

とあるクラブで、新入会員の歓迎会においての行動で、新入会員がベテラン会員に対してセクハラで訴えるという事がありました。

一昔前でしたら、ある程度曖昧にされる事が、現在では解決の道筋を話し合う事無く、即訴えられるということに展開されてしまいます。

セクハラの内容は大変難しいです。男女性別の関係なく、されている側が「不快」であると感じるか否かで判断されます。個人の感覚で判断されるために、明確な線引きは難しいのです。

「相手が断らなかったからOK」というとそういうわけではありません。その時は「まわりには人がいたから我慢したけど」とあとあと考えると気が収まらない。不用意に体の距離が近い、交際の有無などプライベートを詮索する質問からなどもセクハラになります。

また、パワハラとセクハラがセットなる場合も多々あります。

私は、パワハラ・セクハラ専門家ではありませんので、これ以上は説明できませんが、比較的大きなそのクラブでは、一時期、クラブを分割にするほどの大事になってしまい、結局、訴えた方と訴えられた方、双方が退会して、クラブとしてはそれで終了となりました。

が、クラブの規模によっては、存亡の危機となります。クラブのあらゆる事項に関する理事会の決定は最終的なものである。と定款にうたっておりますが、現在の川崎大師ロータリークラブで上記の問題が発生した場合、理事会で解決可能ですとは、明言出来ないと考えます。

セクハラ・パワハラは、ニュースで聞くだけのものではなく、人ごとではなく現実として受けとめる時代になっています。

既存の許されるであろう範疇は限り少なくなり、今まで当たり前前はことは、当たり前として受け入れられる時代ではないことの認識を今ひとつ考えて戴きたいと思えます。

今後、川崎大師RCも男女問わず会員が増加するでしょうから、勇み足ではありますが、定款を読み込んでいくうちに、本年度幹事としての提案をのべさせて戴きました。岩井会長、船木副会長はじめ委員長、会員の皆さまに大変お世話になりました。1年間ありがとうございました。

## 会長退任挨拶

2017-18年度 会長 岩井 茂次

今年度、会長を務めさせていただきました岩井です。いよいよ、会長退任挨拶という事で、この場でお話をさせていただき最期の時間となりました。

クラブ会長というのは、就任年度の前々年の秋頃に指名委員会より指名を受けて、年次総会での信任を経てスタートしますから、今年度の構想を練り始めて、今日の日を迎える迄、およそ2年半の歳月を過ごしてまいりました。

四年前、竹中年度の幹事として新年度がスタートした直後、近隣クラブ表敬訪問を全て終えた7月13日に病に倒れ、病気療養で約3ヶ月クラブを離れました。当時の竹中会長、坂東副会長に支えていただきながらクラブ幹事の重責を果たして年度を終えたときに思ったことは、しばらくの間は体調管理を最優先にしてクラブの理事役員等にご遠慮させていただこうという事でした。しかしながら次の年度が始まり私は初代「ロータリーの友精読委員長」を務め、秋を迎えた頃、クラブは会長を選出する時期を迎えました。当時の私自身は病み上がりで体調不十分のリハビリ中で、それ故に選出の対象外と伝え聞き安心していたのですが、当時の大藪指名委員長からお電話をいただき、私が会長指名をお引き受け出来ない場合、二回目の会長を選出しなければならないと伝えられ、クラブの伝統を繋ぐためと思い、この運命のいたずらにより、私自身が今年度の会長を引き受けることになりました。

今年度は創立45周年を迎える節目の年度であるため、クラブの歴史上、私の知る限りは大変な役目を背負うことになることを覚悟しました。

クラブ会長が最初に練る構想は要となる幹事・副会長を始めとした理事会構成です。クラブ三役は、年度運営の要となり、将来の会長候補となる事から、幹事は秦さん、副会長は船木さんをお願いをして、お二人共に快くお引き受けいただきました。

5大奉仕は最初に親睦委員長に小林さんが決まりました。構想を練りながら浜寿司さんにお昼ご飯にお伺いした際に快諾していただきました。今年度は、例会場受付設営から移動例会の計画・遂行を担っていただきました。定休日である水曜日にお役目を受けていただくことは簡単では無かったと思います。また、周年行事の際にはお店

を休業して設営をしてくれました。ありがとうございました。

社会奉仕委員長は大崎さんにお引受けいただきました。大師RCにおいては、継続事業として「献血・多摩川土手清掃・桜ポスター掲示」と下半期に集中していることから、地区補助金事業は上半期に行う計画としました。東日本大震災復興支援事業は未だ完全復興には遠く、今後も目を向ける必要がある、意義ある事業です。そして被災地に支援を続けることは被災地復興の為だけではなく、天災が続く世の中において、いずれは経験するかも知れない自分たちのための事業でもあります。大崎委員長に社会奉仕理事を経験していただきたい私の思いをご理解していただき、多忙な毎日の中、その全ての事業を遂行していただいた事に感謝しております。ありがとうございました。

青少年奉仕委員長は永松さんにお引受けいただきました。やはり多忙な毎日を送っているため、昼間の例会に出席する事は大変な状況と、RACを活性化するというクラブの課題もあり、RACを中心に活動していただきました。体調を崩された時期もあり、とても心配しましたが、



今後もロータリーを楽しみ、ご活躍をお願いします。ありがとうございました。

職業奉仕理事は中村PPにお引受けいただきました。殿町キングスカイフロントの見学は今後の地域社会に与える影響や、国内屈指の研究施設や研究者が集まる興味深い職場訪問となりました。その他にも計画案があった中で、手が回らず申し訳なかったと反省しています。1年間ありがとうございました。

国際奉仕理事は鈴木幹久PPにお引受けいただき、米山奨学生キムキョンウさんのお世話をいただきました。創立45周年事業においても、姉妹クラブの接待を担っていただきました。ありがとうございました。

中村PP、鈴木PP共にクラブの重鎮として、またご意見番として理事会の公正な運営に貢献いただきました。ありがとうございました。会計・内田さんには最期の決算がありますので、引き続きよろしく願いいたします。ありがとうございました。

毎週の例会運営では森田出席委員長が例会場に駆け込んでくる姿はとても微笑ましく、ご多忙中、1年間出席報告を担当いただき、ありがとうございました。

会員増強・磯田委員長には延べ3回の委員会を開催していただき、大変ありがとうございました。私にももう少し余裕があればと反省しております。周年行事の際は姉妹クラブ接待を長い時間頑張ってくださいましたこと、大変ありがとうございました。

プログラム・松井委員長と出井副委員長には期首に食事をしながら綿密な計画を練ったにも関わらず実現できなかった事が多く残念でしたが、川崎大師平間寺・藤田隆乗貫首の卓話を実現していただいた事は思い出に残るプログラムでした、大変ありがとうございました。

八尋会報委員長には例会時に前方のテーブルに座っていただきながら、写真の撮影の他にも頑張ってくださいました。

星野雑誌広報3代目友精読委員長には1年間楽しい時間を担っていただき、ありがとうございました。実際に読んだ量の何分の1かの興味深い記事を紹介するために頑

張っていただきました。先達として敬意を表し、御礼申し上げます。

これらの中で例会運営には欠かせない存在であったのが布川浩さんです。例会時にはオールマイティにご協力いただき、RACの例会にも積極的に取り組んでいただきました、ありがとうございました。

ソングリーダーは船山さんに頑張ってくださいました。お休みの際には伊藤佳子さん、石渡利さんにもご協力をいただきました。ありがとうございました。

今年度は大きな事業も数多く、上半期は「地区補助金事業／電子ピアノ支援」「社会奉仕事業／ツツジ植樹60本」を当クラブから総勢11名の参加をして、宮城県志津川あさひ幼稚園にて行わせていただきました。佐沼RC高橋会長、阿部復興支援特別委員長をはじめ、佐沼RCの皆様にくりこま高原駅にお出迎えいただき、ホテル観洋にて懇親会を催していただきました。翌日には「語り部バス」に乗り、被災地の現状を目の当たりにして、あらためて復興支援の途上であることを思い知らされました。その後にあさひ幼稚園に行き、電子ピアノ寄贈セレモニー、60本のツツジ植樹を行い、あさひ幼稚園の皆様のご歓迎をいただき、園児の皆さんの一生懸命に歓迎してくれる笑顔の数々に触れ、その交流には胸が熱くなりました。その全ては佐沼RCの皆様のご支援と御協力があって実現できました事、この場をお借りして心より御礼申し上げます。

下半期は新春4クラブ合同例会のホストクラブとして、財団学友の朝倉春菜さんにコンサートにご出演いただきました。これには、青木松枝ガバナー補佐にご協力、お世話をいただき、打合せにも関わっていただきながら、「地区大会記念ディナーパーティーステージの感動を4クラブの皆さんに」をテーマに、4クラブの事務局員の皆様には専用テーブルを用意してゆっくり素晴らしい音楽を楽しんでいただくことが出来ました。

創立45周年記念事業は直近5カ年の会長・幹事・親睦委員長にご参集いただき特別委員会を構成して、2/23に「姉妹クラブ歓迎晩餐会」を中華料理・煌蘭にて、2月24日ホテルニューグランドにて「創立45周年記念式典」を盛大に執り行いました。姉妹クラブのお出迎えには鈴木幹久PP、竹中PP、磯田さんご夫妻、水口さん、沼田さんが行ってくれました。姉妹クラブ歓迎晩餐会は横山PPを中心に設営していただき、音楽に包まれて盛大に姉妹クラブの皆様をお迎えすることが出来ました。式典当日の観光は朝一番、日航ホテルに星野さんと佐沼RCの皆様をお迎えして、インターコンチ横浜で水口さん、磯田さんと合流して漢城RCの皆さんを迎え、「カップヌードルミュージアム」に行きオリジナルのカップヌードルを作りました。その後、山下公園からマリーナクルーズに乗船して「ランチクルーズ」、元町を散

策しました。その片側では、姉妹クラブの皆様から多くのお土産に対するお返しを準備するために、矢野さん・須山さん・沼田さんが朝早くから動き回ってくれました。式典においてはチャーターメンバーであります、寺尾さん、布川二三夫さんに登壇、セレモニーにおいてご活躍いただきました。また男性目線では気が付かない事を牛山直前会長にフォローしていただき、壇上に花を添えていただきました。牛山さんには私が6年前に親睦委員長を務めた際にもたくさんお力添えいただきました。ありがとうございました。特別委員会を構成してくれた直近5代の会長幹事親睦委員長の皆様をはじめ、ご協力いただいた全ての皆様に心より感謝いたします。

この直後の三月には台北西門RC創立41周年記念式典に、宮山PP・大藪PP・須山さん・沼田さんと共に訪問してきました。台北西門RCの式典はまさに会長でなければ経験できない、おもてなしを受けて、会長でなければ見られない景色を見せていただき、とても良い思い出となりました。

4月は佐沼RC高橋会長にお誘いいただき、「お花見移動例会」に須山会長ノミニ、大崎社会奉仕委員長と参加して、翌日には岩手県まで観光にご案内いただきました。私は1日延泊して、あさひ幼稚園にツツジの開花状況を見に行きながら、鈴木昇二PPに合流して2590地区「岩沼市植樹事業」に参加しました。

須山さんには年忘れ家族会委員長の他にも、台北で、松島で幹事代理を務めていただきありがとうございました。宮山さん、須山さんと3人で行った台北でのマッサージの痛かったこと、一生忘れません。

船木副会長には1年間、クラブ管理運営担当委員長として重責を担っていただき、ニコニコ、スマイルボックスを担当していただきました。慣れた頃に年度が終わるととても残念でもあります。年度初めは体調を崩されて入院・手術をされた事ですし、くれぐれも健康にご留意されて今後もクラブを支えていただければと思います。ありがとうございました。

秦幹事、長い間ありがとうございました。幹事を引き受けていただいた時には、想像もつかない年度になったと思います。日常業務が多忙な中でクラブ運営の中核を担う幹事を全うしていただき、ありがとうございました。今年度、ただ一人ホームクラブ100%出席となりました。まずは一度リセットしていただければと思います。秦幹事と経験した事は、この短い時間では語りきれないものがあり、あらためて一献差し上げたいと思います。ありがとうございました。この上ない感謝を申し上げます。

事務局・竹下さんには入会以来、ずっと支えていただけてきましたが、この1年間は特に苦労の連続であったかなと思います。私が全てのクラブの事務局さんに共通し

て願うことは、自分のクラブを誇りに思ってもらえるようにありたいと思います。我がクラブにおいて、竹下さんは不可欠な存在ですので今後も健康にご留意いただき、ずっとクラブを支えていただければ幸いです。

私は1年間にわたり、当初の計画から大きく方向転換をする事になり、ゆっくり考える余裕を持つ事無く、皆さんの協力の下で年度計画を遂行して最終週を迎える事が出来ました。クラブ会長を務めて、良かったのか悪かったのかと聞かれても今は「両方かな」と答えるしかありません。当初より45歳を迎えたクラブですから、私が入会したハンドレッドクラブの頃のような元気は無く、幾人かのメンバーは毎年のように理事役員を務めなければクラブ運営が立ちゆかず、難しい局面に経たされています。クラブの歴史と伝統を重んじながら、その歴史と伝統を継承していく。その方法を皆で考える時期が来ていると思います。私自身は同時にクラブ会長でなければ背負う事も無い責任感も経験して、また会長でなければ見ることが出来ない景色も見ることが出来ました。後に「やって良かった」と思えるようになればと思います。

昨年11月頃に精神的にも肉体的にも体調が非常に厳しい時期があり、秦幹事から「会長、やめるなんて言わないですよ？」と問いかけて「病気で倒れて死ぬ時以外はやめるなんて言わないよ。」と答えて、紆余曲折を味わいながらやっと最終例会を迎えました。この後は、年度会計の整理をして、9月の決算報告が会長幹事に残る役目です。私自身はこの後、検査入院・リハビリを行い、今後はしばらく、心身の健康管理を最優先にしてクラブの職務は辞する事になります。例会もお休みをいただく事が多くなることを御了承ください。

最後にお待たせしました猪狩会場監督。今年度、例会日はほぼ全て会長幹事より早く事務局に到着して、例会運営をしていただきました。振り返ると3年前に猪狩さんが入会する前に「いがり総合事務所」の封筒を郵便局で手にしたとき、またロータリーの友精読の私設副委員長をしていただいた時に、会場監督が決まったのかも知れません。クラブの先達として、猪狩さんを始め、多くの後輩会員の皆さんにクラブの楽しさや充実感を経験してもらいたいと願っていましたが、いかがだったでしょうか。以前は猪狩さんより「仏の岩井」と言っていたきましたが、今年度は「鬼の岩井」になってしまったかも知れません。猪狩さんに対して、心より労いと、会場監督を全うしていただいた事に対して感謝の気持ちを申し上げます。ありがとうございました。

この限られた時間の中では全ての気持ち、思いを語りきることは出来ませんが、今年度を支えて、御協力をいただいた全ての皆様に感謝と御礼を申し上げて、今年度の会長退任のご挨拶とさせていただきます。1年間どうもありがとうございました。

万感の思いを込めて今年度最終例会、閉会の点鐘をさせていただきます。

●点 鐘 岩井 茂次会長





日時：平成30年7月11日(水)は  
通常例会です。

副会長・理事就任挨拶

クラブ  
委員会

八尋 匡彦/森田 尊久/星野 祐治